

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 商工観光課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	1	あらゆる分野における女性の活躍	
施策	1-1	女性の職業能力開発と就業支援	
事業	1-1-1	女性の職業能力開発講座の実施	
事業概要	職業訓練機関との連携により、働くための技術取得や意識改革を図ります。		
数値目標	測定指標	仙南地域職業訓練センターが実施する女性社員キャリアアップ研修の受講者数	
	策定時	6人	目標値 10人
	事業尺度	D	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	研修案内に「女性活躍推進法」の概要を記載し、周知することで企業の関心を深め、受講者数の向上に努めます。
	実績	地域企業で働く女性社員を対象とした「女性社員キャリアアップ研修」を平成29年2月14日～15日に実施し、8社より女性社員8名の受講者がありました。町内受講企業1社1名(北日本電線株)
	評価	法律の理解や仕事に対する意識、研修の周知などの不足から、受講者は8名となり、目標値を達成できませんでした。
平成29年度	計画	女性の職場での活躍推進に対する理解促進と周知を行いながら、女性社員の仕事に対する意識向上とキャリアアップを図る当研修(11月8日～9日実施予定)への受講者数の向上に努めます。 【事業費：124千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 商工観光課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	1	あらゆる分野における女性の活躍	
施策	1-1	女性の職業能力開発と就業支援	
事業	1-1-2	就業に向けた情報提供	
事業概要	雇用者に対する仕事と家庭の両立支援に関する助成金や女性起業家に対する融資制度などの情報を提供します。		
数値目標	測定指標	雇用関係助成金や融資制度などの情報提供	
	策定時	—	目標値
	事業尺度	D	年1回以上

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	機会をとらえ、事業主に対して雇用関係助成金の紹介や女性起業家へは、創業支援事業計画における起業家支援制度の情報提供を行います。
	実績	商工会が開催する創業支援セミナーにおいて、創業支援制度や融資制度等の情報提供を行った。創業支援セミナーをの実績は平成28年11月22日、29日、12月6日、13日、27日の5回開催し、女性の参加は4名（総参加者数9名）でした。
	評価	5回の情報提供を行い、目標値を上回ることができました。
平成29年度	計画	セミナーなどの機会に、事業主に対して雇用関係助成金の紹介や女性起業家へは、創業支援事業計画における起業家支援制度の情報提供を行います。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 商工観光課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	1	あらゆる分野における女性の活躍	
施策	1-1	女性の職業能力開発と就業支援	
事業	1-1-3	女性の再就職や起業の支援	
事業概要	女性の再就職支援として、資格取得や就職活動に関するセミナーや働く動機付けとなる研修を充実し、また、女性向けの起業講座・セミナーを開催します。		
数値目標	測定指標	仙南地域職業訓練センターが実施する離職者等再就職訓練終了3か月後における女性受講者の再就職率	
	策定時	72%	目標値 75%
	事業尺度	C	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	ジョブ・カードを活用し、本人の適性や希望を踏まえながらキャリアサポート(就業支援)を行うことで、就職率の向上に努めます。
	実績	平成28年度は11コース実施、受講者174名が受講し、うち女性受講者は123名(女性受講率:70.7%)でした。女性受講者の就職決定者は、84名(就職率68.3%)となりました。
	評価	就職率の向上に繋がりにくかった一因として、受講者の年齢が高くなってきていることが考えられます。
平成29年度	計画	ジョブ・カードを活用し、本人の適性や希望を踏まえながらキャリアサポート(就業支援・相談)を行うことで、一層の就職率の向上に努めます。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 農政課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	1	あらゆる分野における女性の活躍	
施策	1-2	農産物等の生産や加工・販売を行う女性農業者の支援・育成	
事業	1-2-1	農産物加工品の商品開発・販売等の研修を実施	
事業概要	地域資源を活用した、加工品の商品開発、販売促進等の研修を実施します。		
数値目標	測定指標	研修会の開催	
	策定時	—	目標値
	事業尺度	B	年1回以上

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	町の産直野菜を使った加工技術の高度化に取り組む研修会を開催します。
	実績	地場産野菜の調理や加工方法を学ぶことで、直売所・農村レストランで新たな商品を販売できるよう、直売所等の高度化を図るための研修会を開催しました。（平成28年9月16日、12月21日）
	評価	研修での指導・助言をヒントに新たな商品を直売所、農家レストランで販売でき、商品の種類を増やせたため直売所等の高度化に繋がりました。
平成29年度	計画	町の産直野菜を使った加工技術の高度化に取り組む研修会を開催します。 【事業費：35千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 農政課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	1	あらゆる分野における女性の活躍	
施策	1-2	農産物等の生産や加工・販売を行う女性農業者の支援・育成	
事業	1-2-2	地域活動への参画を支援	
事業概要	町主催事業等へ参画し、農産物や加工品等の販売を通して地産地消を図ります。		
数値目標	測定指標	町主催事業等への参画	
	策定時	—	目標値
	事業尺度	B	年1回以上

※事業尺度の分類 A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	地産地消を推進することを目的に、産直活動や町主催行事等に参加協力します。 安心な地場産品を消費者に提供できるよう野菜等の生産に取り組みます。
	実績	地産地消の推進を目的に産直活動及び各種町主催行事に参加しました。（平成29年7月3日、10月1日、11月19日）また、地場産野菜の調理方法を学び、直売所でのレシピ配布や食べ方を消費者に紹介できるよう、直売所の高度化を図るための研修会を開催しました。（平成28年9月16日、12月21日）
	評価	研修で学んだ調理法等の知識をもとに消費者へのアドバイスができ、地産地消を推進できました。
平成29年度	計画	地産地消を推進することを目的に、産直活動や町主催行事等に参加協力します。 安心な地場産品を消費者に提供できるよう野菜等の生産に取り組みます。 【事業費：54千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 農政課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	1	あらゆる分野における女性の活躍	
施策	1-2	農産物等の生産や加工・販売を行う女性農業者の支援・育成	
事業	1-2-3	農業経営への参画を推進	
事業概要	家族経営協定 締結数が増えるよう啓発に努めます。		
数値目標	測定指標	家族経営協定締結数の増	
	策定時	2家族	目標値 6家族
	事業尺度	B	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の数量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	行事・説明会等での積極的啓発に努め「家族経営協定」の理解を深め、積極的な推進します。
	実績	集落座談会において、家族経営協定に関する情報提供を行いました。
	評価	啓発、情報提供を実施したが、家族経営協定締結数の増には至りませんでした。
平成29年度	計画	行事・説明会等での啓発に努め「家族経営協定」の理解を深め、積極的な推進を図ります。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 農政課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	1	あらゆる分野における女性の活躍	
施策	1-2	農産物等の生産や加工・販売を行う女性農業者の支援・育成	
事業	1-2-4	認定農業者への誘導	
事業概要	女性が認定農業者となるよう啓発に努めます。		
数値目標	測定指標	認定農業者数の増	
	策定時	—	目標値
	事業尺度	B	1人

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	行事・説明会等での積極的啓発に努め「認定農業者」の理解を深め、積極的な推進します。
	実績	集落座談会等において、認定農業者に関する情報提供を行いました。
	評価	啓発、情報提供を行いました。女性認定農業者数の増には至りませんでした。
平成29年度	計画	行事・説明会等での積極的啓発に努め「認定農業者」の理解を深め、積極的な推進します。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 総務課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	1	あらゆる分野における女性の活躍	
施策	1-3	組織の活性化と人材育成	
事業	1-3-1	女性職員の積極的登用	
事業概要	全ての職員が意欲・能力を発揮できるように、さらなる女性の人材育成と管理職登用を図ります。		
数値目標	測定指標	柴田町の女性管理職の登用率	
	策定時	27.8%	目標値 32%
	事業尺度	D	

※事業尺度の分類 A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	平成28年4月1日現在で管理職に占める女性割合は34.3%となり、目標値を達成しました。今後は一般行政職の女性管理職への登用を進めるため、研修等への積極的な参加を促し、人材の育成に努めます。
	実績	北川正恭氏による地方創生の時代に求められる人材育成の講演会や、PFI手法の導入による地域活性化フォーラムへ、職員の積極的な参加を促しました。
	評価	平成28年4月1日現在では目標値を上回っていますが、これは一時的なものであり、年齢構成等様々な要因で目標値を下回る可能性もあります。今後も人材育成に関する研修会等を開催し、女性職員の積極的な参加を促すとともに、女性管理職の登用を進めてまいります。
平成29年度	計画	平成29年4月1日現在、管理職に占める女性の割合は、38.2%で目標値を上回っています。若い時期から多様な経験ができる機会を与え、管理職として必要なマネジメント力や政策力を習得する研修への参加を積極的に呼びかけます。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： まちづくり政策課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	1	あらゆる分野における女性の活躍	
施策	1-1	女性の職業能力開発と就業支援	
事業	1-4-1	審議会等における女性委員登用の促進	
事業概要	審議会などの改選時期に合わせて、所管課の協力を得ながら積極的に女性委員が登用されるよう配慮します。		
数値目標	測定指標	女性登用率30%以上の審議会などの数	
	策定時	15団体	目標値 17団体
	事業尺度	D	

※事業尺度の分類 A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の数量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	女性登用率30%未満の審議会等所管課と、改選期に女性の登用が進むための配慮を検討します。また、4月1日から任期の審議会が最も多く、2月初旬に全課対象に改めて女性登用を促す周知を行います。
	実績	平成28年度で任期満了の審議会等が6団体あるため、所管課担当に女性の登用について協力を依頼しました。
	評価	女性委員登用状況（平成29年4月1日現在 全体）では、登用状況が37.8%となり、前年度に比べ0.28ポイントの増となりました。
平成29年度	計画	女性登用率30%未満の審議会等所管課と、改選期に女性の登用が進むための配慮を検討します。また、平成30年4月1日から任期の審議会もあるので、男女共同参画推進連絡会議での周知と2月に全課対象に改めて女性登用を促す周知を行います。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課：健康推進課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-1	妊娠から子育てまで切れ目のない親子の支援	
事業	2-1-1	妊娠から子育てまで一貫した支援	
事業概要	妊婦して母親になる時期は特に重要であるため、母子健康手帳交付時に、相談を受け付けるとともに、その後の相談体制についても周知を図ります。		
数値目標	測定指標	母子健康手帳交付後における相談	
	策定時	年50人	目標値 年100人
	事業尺度	D	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	妊娠・出産・育児について不安がある妊産婦に対し、母子健康手帳交付時や妊婦学級、産婦新生児訪問等を通して保健師等が相談支援を実施します。
	実績	※妊産婦相談等 83人（延人数） 保健師等が母子健康手帳交付時や産婦新生児訪問を通し、妊娠や出産、育児について不安の軽減を図るための助言や相談窓口の紹介を行った。また、母子健康手帳交付後、妊婦学級や面談などにより相談支援を行った。
	評価	必要な支援に繋げることができました。
平成29年度	計画	母子が妊娠・出産・子育て期を安心して過ごせるよう、子育て世代包括支援センター事業等で保健師等が相談支援を実施します。 【事業費：1,287千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課：健康推進課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-1	妊娠から子育てまで切れ目のない親子の支援	
事業	2-1-2	専門職員の増員	
事業概要	妊娠から子育てまでの切れ目のない支援を実現するために、保健師などの専門職員を増員し体制を強化します。		
数値目標	測定指標	保健師などの専門職員の増員	
	策定時	11人	目標値 12人
	事業尺度	D	

※事業尺度の分類 A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	保健師を1名増員します。
	実績	保健師の増員なし。（策定時同様の専門職員11人）
	評価	1名保健師の採用をしましたが、前年度に1名退職のため、増員には至りませんでした。
平成29年度	計画	保健師を増員します。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 子ども家庭課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-1	妊娠から子育てまで切れ目のない親子の支援	
事業	2-1-3	育児ヘルプサービス支援事業	
事業概要	各家族などにより、育児や家事などの支援を必要とする産前、産後期の母親などに対し、精神的及び肉体的負担の軽減のため、ホームヘルパーを派遣し、必要な便宜を提供します。		
数値目標	測定指標	育児ホームヘルパー派遣件数	
	策定時	—	目標値
	事業尺度	D	10件

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	産前産後の家庭のうち、支援が必要な家庭に対し、精神的肉体的負担の軽減のため、ホームヘルパーを派遣します。
	実績	お知らせ版、町ホームページ等にて広報を行ったが、利用者はいませんでした。
	評価	1名の利用者登録はあったが、利用には至りませんでした。
平成29年度	計画	産前産後の家庭のうち、支援が必要な家庭に対し、精神的肉体的負担の軽減のため、ホームヘルパーを派遣します。 【事業費：567千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 子ども家庭課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-1	妊娠から子育てまで切れ目のない親子の支援	
事業	2-1-4	子育て相談事業	
事業概要	子育てに関するあらゆる困難について、家庭児童相談員を配置し、子育てに関する相談体制の充実を図ります。		
数値目標	測定指標	家庭児童相談員の勤務体制	
	策定時	1人	目標値 2人
	事業尺度	D	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	家庭児童相談員を1名配置し、子育てに関する相談体制を図ります。
	実績	家庭児童相談員1名を配置し、月火木に相談業務を実施しました。
	評価	目標値は2人だが、1人配置し相談業務を実施することができました。
平成29年度	計画	家庭児童相談員を1名配置し、子育てに関する相談体制を図ります。 【事業費：977千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 子ども家庭課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-1	妊娠から子育てまで切れ目のない親子の支援	
事業	2-1-5	保育体制の充実	
事業概要	出産後の女性が就労しやすい環境を整えるため、家庭的保育事業者の誘致に取り組むなどし、待機児童の解消に努めます。		
数値目標	測定指標	家庭的保育事業新規事業者の確保	
	策定時	4事業所	目標値 7事業所
	事業尺度	B	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	小規模保育事業の新規事業者に対して、勧誘を行います。 (平成29年度開始に向けた取り組みを行います。)
	実績	全4回受講必須の研修(参加者20名)を実施しました。
	評価	20名の参加があったが、新規事業者の確保には至りませんでした。
平成29年度	計画	小規模保育事業の新規事業者に対して、勧誘を行います。 (平成30年度開始に向けた取り組みを行います。) 【事業費：53,782千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 子ども家庭課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-1	妊娠から子育てまで切れ目のない親子の支援	
事業	2-1-6	ひとり親家庭に対する支援の充実	
事業概要	ひとり親家庭のお父さん、お母さんが病気や仕事のため、家事や育児など一時的に日常生活に支障が生じた場合は、家庭支援員を派遣し、日常家事などのお手伝いをします。		
数値目標	測定指標	家庭生活支援員の派遣件数	
	策定時	—	目標値
	事業尺度	D	5件

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	支援が必要なひとり親家庭等に対し家庭支援員を派遣し、日常家事等の支援をします。
	実績	お知らせ版、町ホームページにて広報を行ったが、利用者はいませんでした。
	評価	支援が必要な利用者が制度を知っていただけるよう、さらなる周知を図ります。
平成29年度	計画	支援が必要なひとり親家庭等に対し家庭支援員を派遣し、日常家事等の支援をします。 【事業費：935千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課：健康推進課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-2	女性特有の疾病等の理解促進	
事業	2-2-1	女性特有の疾病等に関する情報誌の発行	
事業概要	家庭や職場、地域に対して、女性特有の疾病や、その治療などについて理解されるよう周知に努めます。		
数値目標	測定指標	関連情報誌の発行	
	策定時	—	目標値
	事業尺度	E	年1回以上

※事業尺度の分類 A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
 C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
 E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	女性が罹るリスクが高い子宮がんや乳がん、骨粗しょう症について検診を実施します。女性特有の病気について、パンフレット配布や健康教育を通して情報提供を行います。
	実績	【パンフレット等の配布や広報掲載等、関連情報誌の発行】 （合計7回） ・子宮がん検診と乳がん検診の一定年齢の方を対象にがんについて解説した「検診手帳」を送付。（1回） ・骨粗しょう症検診受診者、健康まつりのがんコーナー、健康教育でパンフレットの配布。（5回） ・広報紙にがん予防に関する記事を掲載。（3月号 1回） 【検診の実施】 ・子宮がん検診、乳がん検診、骨粗しょう症検診を実施。 【健康教育の実施】 ・高校生や健康推進員等対象の健康教育を実施。（3回）
	評価	検診やイベントでパンフレットの配布や健康教育等を通し、情報提供を行い、理解促進を図ることができました。
平成29年度	計画	女性が罹るリスクが高い子宮がんや乳がん、骨粗しょう症について検診を実施します。女性特有の病気について、パンフレット配布や健康教育を通して情報提供を行います。 【事業費：277千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 子ども家庭課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-3	あらゆる暴力の根絶	
事業	2-3-1	DV相談及び支援に関する体制の整備	
事業概要	関係機関との連携を強化し、相談・支援体制を整備します。また、DVに関する事項の情報を発信し、理解の促進を図ります。		
数値目標	測定指標	DV相談窓口に関する情報の発信	
	策定時	—	目標値 年1回
	事業尺度	E	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	広報誌により情報を発信します。
	実績	平成28年11月1日号のお知らせ版にて情報発信を実施しました。
	評価	次年度も同様に情報の発信を実施します。
平成29年度	計画	広報誌により情報を発信します。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 町民環境課・槻木事務所

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-3	あらゆる暴力の根絶	
事業	2-3-2	住民基本台帳の閲覧などの制限	
事業概要	DV被害により避難している者の被害拡大を防ぐため、避難者情報の保護徹底と職員の意識向上を図ります。		
数値目標	測定指標	窓口職員向けの対応マニュアル作成	
	策定時	—	目標値 作成
	事業尺度	E	

※事業尺度の分類 A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	柴田町ドメスティック・バイオレンス及びストーカー行為等の被害者支援に関する住民基本台帳事務処理要領に基づき、事務を行います。関係各課と連携を図り、DV被害者の被害拡大を防ぎます。
	実績	対応マニュアルを作成しました。
	評価	住民基本台帳事務処理要領に基づき、今後も適正に事務を行います。
平成29年度	計画	平成28年度に引き続き、住民基本台帳事務処理要領に基づき住民基本台帳上必要な支援措置を行い、また、関係各課と情報共有を図りDV被害者等の被害拡大を防ぎます。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 子ども家庭課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-3	あらゆる暴力の根絶	
事業	2-3-3-①	児童虐待の防止と支援体制の充実	
事業概要	児童虐待に関する理解や関心を深めるための啓発に取り組むとともに、突発的に発生する事案に対しても迅速に対応する体制を構築します。		
数値目標	測定指標	広報誌などによる啓発	
	策定時	—	目標値 年1回以上
	事業尺度	E	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	広報誌により啓発を行います。
	実績	平成28年11月1日号のお知らせ版にて啓発を実施しました。
	評価	目標値を達成しました。次年度も同様に情報の発信を実施します。
平成29年度	計画	広報誌により情報を発信します。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 子ども家庭課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-3	あらゆる暴力の根絶	
事業	2-3-3-②	児童虐待の防止と支援体制の充実	
事業概要	児童虐待に関する理解や関心を深めるための啓発に取り組むとともに、突発的に発生する事案に対しても迅速に対応する体制を構築します。		
数値目標	測定指標	要保護児童対策地域協議会の開催	
	策定時	—	目標値 毎週開催
	事業尺度	D	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	児童虐待等が発生した際に要保護児童対策地域協議会を開催します。
	実績	事案発生時の個別ケース会議を17回、代表者会議、実務者会議をそれぞれ1回実施した。
	評価	目標値である毎週開催には至りませんでした。適切に会議を開催できました。
平成29年度	計画	児童虐待等が発生した際に要保護児童対策地域協議会を開催します。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： まちづくり政策課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-3	あらゆる暴力の根絶	
事業	2-3-4	あらゆる暴力の根絶に向けた理解の促進	
事業概要	「女性に対する暴力をなくす運動」期間（11／12～25）を利用し、あらゆる暴力の存在などについて広く周知を図ります。		
数値目標	測定指標	暴力根絶に向けた街頭活動の実施	
	策定時	—	目標値
	事業尺度	D	年1回

※事業尺度の分類 A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	期間中お知らせ版に記事掲載し周知を図ります。また、街頭活動については場所、手法等について検討します。
	実績	ホームページで周知を図りました。また、男女共同参画の情報誌にDVに関する記事及び相談窓口を掲載しました。
	評価	期間中、町ホームページや情報誌にDVに関する記事及び相談窓口を掲載し、周知できました。さらなる理解促進を図ります。
平成29年度	計画	期間中、お知らせ版及び町ホームページ、情報誌に記事掲載し周知を図ります。また、街頭活動については手法等について継続して検討します。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課：福祉課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-4	高齢・障害などの困難を抱えても安心して暮らせる環境整備	
事業	2-4-1	介護サービス等の情報の充実	
事業概要	出前講座などにより、介護保険制度に関する説明会の開催やパンフレットの配布により介護サービスの情報提供などを行います。		
数値目標	測定指標	出前講座の参加者及び回数	
	策定時	4回110人	目標値 6回140人
	事業尺度	E	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	認証サポーター養成講座や介護予防教室の際に、介護保険制度のチラシ配布時に介護保険制度についての出前講座講座実施についてのPRを強化します。
	実績	平成28年度は介護保険制度に係る出前講座を15回（参加者470人）を開催しました。
	評価	今後さらに出前講座の実施回数を増やせるよう内容を検討していきます。
平成29年度	計画	認証サポーター養成講座や介護予防教室の際に、介護保険制度のチラシ配布時に介護保険制度についての出前講座講座実施についてのPRを強化します。 【事業費：40千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課：福祉課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-4	高齢・障害などの困難を抱えても安心して暮らせる環境整備	
事業	2-4-2	介護相談の充実	
事業概要	介護の不安や悩みごとの相談体制の充実を図ります。		
数値目標	測定指標	地域包括支援センターの介護等の相談件数	
	策定時	5,013人	目標値 5,300人
	事業尺度	E	

※事業尺度の分類 A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
 C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
 E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	出前講座等の開催時に地域包括センターについてのPRを強化します。
	実績	平成28年度の介護等の相談は、4,995人でした。
	評価	多様化する相談にも迅速に対応できるよう、今後も関係機関との連携強化を進めます。
平成29年度	計画	出前講座等の開催時に地域包括センターについてのPRを強化するとともに、関係機関との連携に努めます。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課：福祉課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-4	高齢・障害などの困難を抱えても安心して暮らせる環境整備	
事業	2-4-3	障害者相談事業	
事業概要	障害のある方が自立した日常生活を送れるよう、多様な相談に応じ、必要な情報を提供し、生活や就労の支援の充実を図ります。		
数値目標	測定指標	障害者相談支援事業利用者数	
	策定時	89人	目標値 100人
	事業尺度	E	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	県南生活サポートセンター「アサンテ」等の支援事業所と連携し、各種福祉サービスの情報提供や相談事業を実施します。また、基幹相談支援センターによる総合的、専門的な相談について実施します。
	実績	委託事業所と連携しながら事業を行い、相談件数は相談支援事業が1,111件（55人）、基幹相談支援事業が496件（29人）でした。
	評価	支援事業所との連携を強化し、町民へのPRの方法についても検討します。
平成29年度	計画	県南生活サポートセンター「アサンテ」等の支援事業所と連携し、各種福祉サービスの情報提供や相談事業を実施します。また、基幹相談支援センターによる総合的、専門的な相談について実施します。 【事業費：相談支援 2,521千円 基幹相談支援 2,540千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課：福祉課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-4	高齢・障害などの困難を抱えても安心して暮らせる環境整備	
事業	2-4-4	基幹相談支援センターにおける障害者虐待防止センター事業の周知	
事業概要	障害者への虐待をなくし、障害者が不利益を被らないよう基幹相談支援センターの充実や関係者との連携を強化し、障害者の権利を守る体制づくりを促進すると共に、事業の周知を行います。		
数値目標	測定指標	広報紙などを活用した情報発信	
	策定時	年1回	目標値
	事業尺度	E	年2回以上

※事業尺度の分類 A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	基幹相談支援センターとの連携を強化すると共に、広報紙等により障害者虐待防止センター事業の周知を行います。
	実績	年に2回広報紙により周知しました。平成28年8月15日号及び平成29年2月1日号の広報しばたお知らせ版に掲載しました。
	評価	広報誌の掲載については今後も継続し、町ホームページの活用も含め、周知活動に努めます。
平成29年度	計画	基幹相談支援センターとの連携を強化するとともに、広報紙等により障害者虐待防止センター事業の周知を行います。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課：福祉課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-4	高齢・障害などの困難を抱えても安心して暮らせる環境整備	
事業	2-4-5	福祉避難所運営設置マニュアルの作成	
事業概要	町が協定締結する福祉避難所において、女性専用スペースの確保など、女性に配慮した福祉避難所運営設置マニュアルを作成します。		
数値目標	測定指標	女性に配慮した福祉避難所マニュアルの作成	
	策定時	—	目標値 作成
	事業尺度	E	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	柴田町地域防災計画、柴田町地域福祉計画、柴田町地域福祉活動計画との整合性を図りながら、調査・検討を行います。
	実績	柴田町地域防災計画と平成30年度作成予定の柴田町地域福祉計画等と整合性をとり、当該マニュアルの平成31年度作成に向けて、調査・検討を行いました。
	評価	平成28年度に完成した柴田町地域防災計画の内容確認について完了しなかったため、次年度引き続き、調査・検討を行います。
平成29年度	計画	柴田町地域防災計画、柴田町地域福祉計画等との整合性を図りながら、継続して調査・検討を行います。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 柴田町社会福祉協議会

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	2	安心して暮らせる環境の整備	
施策	2-4	高齢・障害などの困難を抱えても安心して暮らせる環境整備	
事業	2-4-6	日常生活における総合的な相談機能の充実	
事業概要	地域包括支援センターや民生児童委員との連携を深めるとともに、日常生活に困難を抱えた町民に対し適切な支援ができるよう、各種支援制度などに関する勉強会を開催し、相談体制の強化を図ります。		
数値目標	測定指標	各種支援制度などに関する勉強会の開催	
	策定時	—	目標値
	事業尺度	E	年1回以上

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	平成28年度福祉推進委員研修会を9月に2回開催予定（9/13, 29）
	実績	研修会を平成28年9月13日（25人参加）、9月27日（60人参加）の2回開催しました。
	評価	人口減少社会と2025年問題を見据え、住民主体の生活支援の拡充と担い手の確保の推進を図ることができました。
平成29年度	計画	地域支え合い研修を開催します。 【事業費：20千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課：生涯学習課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	3	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	
施策	3-1	家庭・地域における男女共同参画の推進	
事業	3-1-1	父親向け事業「イクメン講座」の実施	
事業概要	父親の育児参加を促進するために父と子が一緒に楽しめる体験型学習を主とした講座を開催し、男性の家庭参画を推進します。		
数値目標	測定指標	取組施設と回数の増加	
	策定時	1施設(3回)	目標値
	事業尺度	D	3施設(9回)

※事業尺度の分類
 A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
 C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
 E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	生涯学習課主催「イクメン講座パパとワ〜クわく」（6月、2回実施）は槻木生涯学習センターを会場として開催します。また、船岡生涯学習センター主催「イクメン講座アウトドア塾」（10月、1回実施）に加え、新規事業として船迫生涯学習センター主催「イクメン講座パパと一緒に安全安心サイクリング教室」（8月、1回実施）を開催して、目標実現を目指します。																																			
	実績	<p>母親の育児や家事の負担を軽減できるよう、父親の積極的な子育て参加を促し、遊び体験や他の父親と交流を深めながら子育てについて楽しく学ぶための講座を行いました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No</th> <th style="width: 30%;">講座名</th> <th style="width: 20%;">主催(会場)</th> <th style="width: 10%;">実施日</th> <th style="width: 5%;">回数</th> <th style="width: 10%;">参加者</th> <th style="width: 20%;">内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ピカイチイクメン講座 パパとワ〜クわく!</td> <td>生涯学習課 (槻木生涯 学習センター)</td> <td>6/4, 6/25</td> <td>2</td> <td>45</td> <td>親子18組 (父18名、幼児19名、 小学生8名)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>イクメン講座 家族で安全安心・サイク リング講座</td> <td>船迫生涯学習 センター (同)</td> <td>8/20</td> <td>1</td> <td>20</td> <td>親子8組 (父8名、 小学生以下12名)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ピカイチイクメン講座 〜アウトドア塾</td> <td>船岡生涯学習 センター (同)</td> <td>10/8</td> <td>1</td> <td>22</td> <td>親子10組 (父10名、 小学生以下12名)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">3施設</td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">87</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	講座名	主催(会場)	実施日	回数	参加者	内訳	1	ピカイチイクメン講座 パパとワ〜クわく!	生涯学習課 (槻木生涯 学習センター)	6/4, 6/25	2	45	親子18組 (父18名、幼児19名、 小学生8名)	2	イクメン講座 家族で安全安心・サイク リング講座	船迫生涯学習 センター (同)	8/20	1	20	親子8組 (父8名、 小学生以下12名)	3	ピカイチイクメン講座 〜アウトドア塾	船岡生涯学習 センター (同)	10/8	1	22	親子10組 (父10名、 小学生以下12名)	合計		3施設		4	87	
	No	講座名	主催(会場)	実施日	回数	参加者	内訳																														
1	ピカイチイクメン講座 パパとワ〜クわく!	生涯学習課 (槻木生涯 学習センター)	6/4, 6/25	2	45	親子18組 (父18名、幼児19名、 小学生8名)																															
2	イクメン講座 家族で安全安心・サイク リング講座	船迫生涯学習 センター (同)	8/20	1	20	親子8組 (父8名、 小学生以下12名)																															
3	ピカイチイクメン講座 〜アウトドア塾	船岡生涯学習 センター (同)	10/8	1	22	親子10組 (父10名、 小学生以下12名)																															
合計		3施設		4	87																																
評価	実施施設を2施設増、講座回数も1回増とし、町内の全生涯学習センターにおいて「イクメン講座」を行うことができ、男性の家庭参画の推進が図られました。																																				
平成29年度	計画	船迫生涯学習センター主催「イクメン講座パパと一緒に簡単・すてきな写真講座」（9月、1回実施）、船岡生涯学習センター主催「イクメン講座アウトドア塾」（10月、1回実施）を開催します。さらに、槻木生涯学習センターの主催事業として「イクメン講座パパとワ〜クわく」（12月・1月、2回実施）を開催します。 【事業費：150千円】																																			
	実績																																				
	評価																																				
平成30年度	計画																																				
	実績																																				
	評価																																				
平成31年度	計画																																				
	実績																																				
	評価																																				
平成32年度	計画																																				
	実績																																				
	評価																																				

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課：生涯学習課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	3	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	
施策	3-1	家庭・地域における男女共同参画の推進	
事業	3-1-2	地域デビュー事業の実施	
事業概要	定年退職後の男性が生きがいづくりのために、地域資源を活用した体験学習の講座を開催し、地域参画を支援します。		
数値目標	測定指標	男性受講者の増加	
	策定時	10%	目標値 25%
	事業尺度	B	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	槻木生涯学習センター主催「地域デビュー・生きがい探し教室」(6～11月、5回実施)と船岡生涯学習センター主催「団塊世代の元気塾」(6～11月、6回実施)においては、男性が参加しやすくするためにテーマにもものづくりや体を動かす内容を取り入れます。また、新規事業として船岡生涯学習センター主催「男のそばづくり体験教室」(8・11月、2回実施)を開催し、男性が地域の人と交流する機会を提供します。																																										
	実績	さまざまな活動を通して地域での「いきがい」を見つけてもらい、地域や町全体の活性化につなげることを目的とした講座を行いました。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>講座名</th> <th>主催・会場</th> <th>実施日</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>地域デビュー・生きがい探し教室</td> <td>槻木生涯学習センター</td> <td>6月～11月</td> <td>5</td> <td>106</td> <td>男 9名 女 97名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>団塊世代の元気塾</td> <td>船岡生涯学習センター</td> <td>6月～11月</td> <td>6</td> <td>167</td> <td>男 6名 女 161名</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>男のそばづくり体験教室</td> <td>船岡生涯学習センター</td> <td>8/31,11/30</td> <td>2</td> <td>18</td> <td>男 18名</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">合計</td> <td>291</td> <td>男 33名</td> </tr> <tr> <td colspan="7" style="text-align: right;">(受講率 11.3%)</td> </tr> </tbody> </table>	No	講座名	主催・会場	実施日	回数	延べ参加者	内訳	1	地域デビュー・生きがい探し教室	槻木生涯学習センター	6月～11月	5	106	男 9名 女 97名	2	団塊世代の元気塾	船岡生涯学習センター	6月～11月	6	167	男 6名 女 161名	3	男のそばづくり体験教室	船岡生涯学習センター	8/31,11/30	2	18	男 18名	合計					291	男 33名	(受講率 11.3%)						
	No	講座名	主催・会場	実施日	回数	延べ参加者	内訳																																					
1	地域デビュー・生きがい探し教室	槻木生涯学習センター	6月～11月	5	106	男 9名 女 97名																																						
2	団塊世代の元気塾	船岡生涯学習センター	6月～11月	6	167	男 6名 女 161名																																						
3	男のそばづくり体験教室	船岡生涯学習センター	8/31,11/30	2	18	男 18名																																						
合計					291	男 33名																																						
(受講率 11.3%)																																												
評価	男性向け新規講座等を開催しましたが、男性受講率は平成27年度に比べ1.3ポイントの上昇に留まりました。引き続き、男性の地域参画につながる講座の実施を目指します。																																											
平成29年度	計画	槻木生涯学習センター主催「地域デビュー・生きがい探し教室」(6～9月、3回実施)と船岡生涯学習センター主催「団塊世代の元気塾」(6～11月、6回実施)、「男のそばづくり体験教室」(11・12月、2回実施)を実施します。レクリエーションや健康に関する講話、実技等を通して、男性が気軽に生涯学習センターを訪れ、地域の人と交流できるよう、機会を提供します。 【事業費：40千円】																																										
	実績																																											
	評価																																											
平成30年度	計画																																											
	実績																																											
	評価																																											
平成31年度	計画																																											
	実績																																											
	評価																																											
平成32年度	計画																																											
	実績																																											
	評価																																											

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 教育総務課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	3	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	
施策	3-2	学校教育における男女共同参画に関する取組の理解の促進	
事業	3-2-1	学校だよりへの男女共同参画についての記事掲載	
事業概要	学校が保護者向けに発行している「学校だより」で、男女共同参画に関する教育現場での取組を紹介します。また、それを回覧などで全町民に対しても周知し、理解の促進を図ります。		
数値目標	測定指標	男女共同参画についての記事掲載頻度	
	策定時	—	目標値 年1回以上
	事業尺度	E	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	学校教育に関わりの少ない町民に対しても、教育現場での男女共同参画への取組について、各学校毎発行している「学校だより」で紹介していきます。
	実績	第一幼稚園において、小学校就学前の園児とその保護者に男女共同参画意識啓発を図るため、1月号から園だよりに欄を設け、文部科学省の資料を基に男女共同参画についての記事を掲載しました。小中学校においては、学校だよりに特別に欄を設けてはいませんが、記事の内容により、男女共同参画について掲載しました。
	評価	男女共同参画の記事掲載については、特別に取り上げて啓発・周知がされていない点はあるが、かなり以前から男女平等や男女共同参画について日常的に取り組んできており、現在では十分意識は根付いてきています。今後の「学校だより」への掲載による周知については、必要に応じ行っていきます。
平成29年度	計画	「学校だより」へ男女共同参画に関する内容を盛り込んだ内容を記載
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 教育総務課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	3	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	
施策	3-2	学校教育における男女共同参画に関する取組の理解の促進	
事業	3-2-2	教育現場における男女共同参画に関する教育機会の充実	
事業概要	心をはぐくむ教育活動のように講演会や特別授業などで、男女共同参画をテーマにした事業を実施します。		
数値目標	測定指標	男女共同参画についての事業実施	
	策定時	—	目標値
	事業尺度	D	年1回以上

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の数量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	各学校毎、講演会や特別授業などで男女共同参画について講師を招き違った角度から意識高揚を図ります。（デートDVの話等）
	実績	男女共同参画をテーマとした特別授業等は実施できなかったが、小学校における人権教室等による教育や、中学校における公民的分野での教育、道徳教育など、適切な時機を捉えて本施策に関わることに留意し行いました。
	評価	男女共同参画をテーマとした特別授業等は実施できなかった点はあるが、これまでの常日頃からの取組により、男女平等や男女共同参画の意識は根付いていると思われます。
平成29年度	計画	道徳の教科や学校の運営状況を踏まえながら、特別授業の実施も考慮していきます。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課：総務課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	3	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	
施策	3-3	地域防災における男女参画の推進	
事業	3-3-1	学校・地域における防災教育の充実	
事業概要	防災訓練にあわせて出前講座による学校・地域における防災教育を行います。		
数値目標	測定指標	自主防災会訓練・出前講座の回数	
	策定時	11件	目標値 15件
	事業尺度	B	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の数量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	自主防災組織における女性参画の必要性を理解してもらうために、防災訓練や出前講座等により、学校・地域における防災教育の実施を積極的に行います。
	実績	防災訓練4件（学校0件、自主防災組織4件）、出前講座7件（槻木中学校1件、行政区6件）、合計11件の防災教育を行いました。
	評価	周知不足のために、目標15件に対し11件に終わりました。引き続き、行政区や小中学校に働きかけ、開催件数を目標値に近づけるよう努めるとともに、防災に対する意識の高揚と自主防災組織への女性参画の必要性について理解を深めてもらいます。
平成29年度	計画	自主防災組織の防災訓練や出前講座等を活用して、自主防災組織における男女共同参画の必要性（防災訓練では性別での役割分担をしない（炊き出し訓練を女性に限定しない）ことなど）を伝えていきます。また、出前講座の実施回数を昨年度実績よりも増やすため、行政区長等に周知していきます。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： 総務課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	3	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	
施策	3-3	地域防災における男女参画の推進	
事業	3-3-2	自主防災指導員の養成	
事業概要	自主防災組織の指導員を養成し、各行政区2名以上の指導員を配置します。		
数値目標	測定指標	自主防災指導員の女性の割合	
	策定時	16.2%	目標値 20%
	事業尺度	B	

※事業尺度の分類
A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の数量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	自主防災組織運営において、地域の防災リーダーである防災指導員の女性の割合を増やすために、防災指導員養成講座の女性の受講を積極的に推進します。
	実績	今年度、認定防災指導員の知識や技術の再確認とレベルアップを図るフォローアップ講習を実施しましたが、防災指導員養成講座は実施しませんでした。このため、防災指導員の人数を増やすことはできませんでした。
	評価	女性の防災指導員の割合は15.4%（136人中21人）です。今後、フォローアップ講習の実施の有無に関わらず、毎年養成講座を実施して女性の防災指導員の増加に努めるとともに、各行政区最低2人の防災指導員の確保にも努めます。
平成29年度	計画	今年度の防災指導員に係る女性の割合を16.7%とするため、防災指導員養成講座に係る女性の受講を積極的に推進します。また、防災指導員が全くいない2つの行政区に対し、防災指導員養成講座の受講を呼びかけ、行政区で最低1人の防災指導員となるように努めます。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： まちづくり政策課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	3	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	
施策	3-4	積極的な情報発信による男女共同参画社会の理解促進	
事業	3-4-1	男女共同参画情報誌の発行	
事業概要	男女共同参画に関するあらゆる情報を男女共同参画情報紙としてまとめ、町民に発信します。		
数値目標	測定指標	男女共同参画情報紙の発行	
	策定時	—	目標値
	事業尺度	E	年1回以上

※事業尺度の分類 A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	男女共同参画社会の考え方について1ペーパーにまとめ、全戸配布により周知を図ります。実施時期は平成29年3月中旬の区長配布で配布します。
	実績	「しばたの男女共同参画通信」を発行し、平成29年3月15日の区長配達で全戸配布するとともに、町ホームページに掲載しました。
	評価	全戸配布及び町ホームページに掲載することにより男女参画社会の理解促進が図られました。
平成29年度	計画	男女共同参画社会の考え方や男女共同参画事業の内容について、1ペーパーにまとめ、全戸配布及び町ホームページにより周知を図ります。実施時期は平成30年3月中旬の区長配布で配布します。 【事業費：3千円】
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	

第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート

担当課： まちづくり政策課

【施策の基本情報】

作成年度	平成28年度	計画・実績の別	実績・計画
基本目標	3	男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	
施策	3-4	積極的な情報発信による男女共同参画社会の理解促進	
事業	3-4-2	町内企業による取組事例の紹介	
事業概要	町内企業による育児休業取得状況（特に男性の育児休業取得）などの取組事例を公表し、他の企業の意識高揚を図ります。		
数値目標	測定指標	企業の取組を広報紙の特集記事として掲載	
	策定時	—	目標値
	事業尺度	B	1企業以上

※事業尺度の分類 A：法律・制度が整備されなければ達成できない、B：町民や企業などの協力が得られれば達成が見込める
C：国・県の財政支援が整えば達成が見込める、D：町単独で予算や体制が整えば達成が見込める
E：担当課の裁量で達成が見込める、F：すでに達成に近い

【目標達成に向けた年度ごとの計画と実績】

平成28年度	計画	町内企業に連絡または訪問し関連する事例の情報を収集します。
	実績	町内企業に電話連絡にて情報収集に努めましたが、特集記事として取り扱える情報無し。引き続き情報収集を行いました。
	評価	企業の取組を特集記事として掲載することはできませんでした。次年度以降も町内企業の状況を確認し情報の収集を行います。
平成29年度	計画	町内企業の取組について、情報を収集し、また、柴田町工場等連絡協議会と連携し、周知、情報収集を行っていきます。
	実績	
	評価	
平成30年度	計画	
	実績	
	評価	
平成31年度	計画	
	実績	
	評価	
平成32年度	計画	
	実績	
	評価	